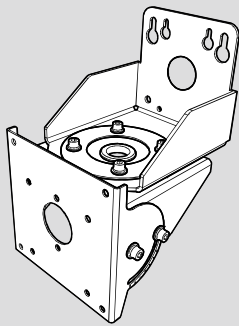


取扱／施工説明書

自在金具 ZPDJ006-R



このたびは、当社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ごぞいます。



ご使用の前に必ずこの取扱／施工説明書をお読みください。
正しくお使いいただくために、内容をよく理解したうえで
ご使用ください。

- この取扱／施工説明書はいつでも使用できるところに保管してください。

能美防災株式会社

1. ご使用の前に

自在金具(以降、本製品)を使用すると、感知器、および検知器(以降、センサ)を任意の方向へ向けることができます。
センサの種類によって監視範囲が異なります。監視範囲については、
取り付けのセンサの取扱説明書を参照してください。
一例として、感知器(FDCJ004-D)の監視範囲を以下に示します。
水平、および垂直方向の角度は、設備図面に指示されているとおりに
調整してください。

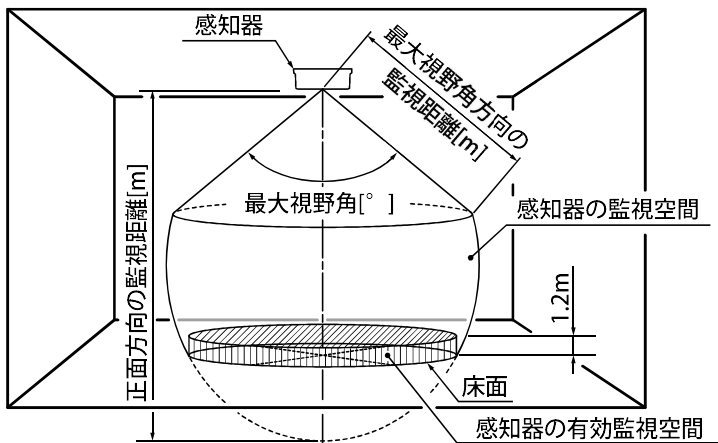


図 感知器の監視範囲

NOHMI 能美防災株式会社

本社／〒102-8277 東京都千代田区九段南4-7-3 TEL. (03)3265-0211

支社／北海道(011)746-6911 東北(022)221-2695 新潟(025)243-8121 丸の内(03)3213-1781
茨城(029)239-5280 千葉(043)266-0303 北関東(048)669-2255 西関東(042)643-1520
横浜(045)682-4700 静岡(054)340-0013 中部(052)589-3241 長野(026)227-5521
北陸(076)252-6211 関西(06)6330-8661 京都(075)694-1192 中国(082)510-1125
岡山(086)244-4222 九州(092)712-1560 盛岡(019)645-0552 秋田(018)862-5086
旭川(0166)25-5600 青森(017)729-0532 沼津(055)955-5227 浜松(053)473-3422
郡山(024)947-1194 福島(024)528-4195 羽田(03)5757-8393 土浦(029)822-3851
杉並(03)3306-0451 城東(03)3626-2461 五反田(03)3779-8737 長崎(095)845-0135
宇都宮(028)637-4317 群馬(027)328-1567 沼津(055)955-5227 福岡(093)583-3344
三重(059)226-9860 岐阜(058)201-3771 富山(076)444-1450 鹿児島(099)253-8196
神戸(078)334-3581 四国(087)868-6811 北九州(093)583-3344
熊本(096)360-1051 大分(097)543-2778 宮崎(0985)28-8792
沖縄(098)862-4297
工場／三鷹(0422)44-5141 メヌマ(048)588-1531

URL <https://www.nohmi.co.jp/>

この取扱説明書の記載内容は 2021 年 5 月現在のものです。

2. 本書の表記

警告表示は、警告文と警告レベルを示す記号の組合せで表示されます。

■ 警告文

危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをした場合に生じるおそれがある内容を、「危険」、「警告」、「注意」の3つに区分しています。

危険	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うか、防災機能に致命的な悪影響を及ぼすことが想定されることを示しています。
警告	取り扱いを誤った場合、使用者が重傷や傷害を負うか、防災機能の一部に重大な悪影響を及ぼすおそれがあることを示しています。
注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか、防災機能に悪影響を及ぼすおそれがあることを示しています。また、防災機能を長期にわたって有効に活用するうえで、ぜひ守ってほしい事項を示しています。

■ 記号

⚠	警告・注意を促す内容があることを示しています。
🚫	禁止内容を示しています。
🛑	行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

3. 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。ご使用になる前に、「安全上のご注意」をよくお読みください。

危険 ⚠	本製品は、総重量に耐える構造物に取り付けてください。 強度が不十分な構造物に取り付けると、構造物の破損により重大な事故を招くおそれがあります。
警告 ⚠	センサの間近に行くための足場などを確保してください。遠方からの作業はバランスを崩しやすく、重傷、またはケガを負うおそれがあります。
警告 🚫	センサの前に透明なアクリル板やガラスがある場所に設置しないでください。正常な火災監視ができなくなります。
注意 🚫	センサの監視範囲内に以下の光源、および熱源がある場所に設置しないでください。火災以外で作動する可能性があります。 ・アーク溶接などの火花・赤外線ストーブ・石英ランプ ・マッチ、ライター、花火、フレアスタックなどの炎が伴う事象
注意 🚫	センサの監視範囲内に障害物がある場所に設置しないでください。正常な火災監視ができなくなります。
注意 🛑	センサの受光部に不均一な照明光、日光が照射されないような位置に設置してください。
注意 🛑	本製品は、壁に垂直となるように取り付けてください。 センサを正常な向きに固定できなくなるおそれがあります。

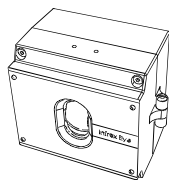
4. 梱包箱内の付属品

梱包箱の中には、以下の付属品が入っています。

- ◆ 取扱／施工説明書(本書) … 1枚
- ◆ 角度表示シール … 1枚
- ◆ M5×14ネジ … 5本
- ◆ グロメット … 1個
- 【内訳】 4本：取付板への機器取付用 1本：予備

5. 本製品の適用器具

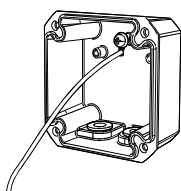
本製品へ取り付け可能なセンサおよび配線用ボックスです。



センサ形状 1
PDCJ001-Dなど
同一形状を含む
(10-1項参照)



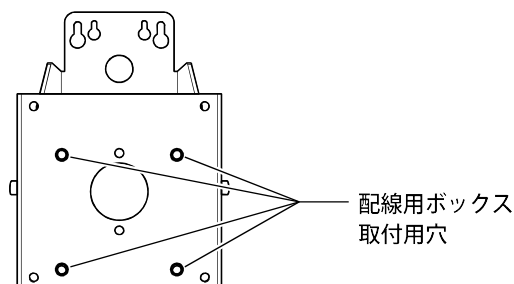
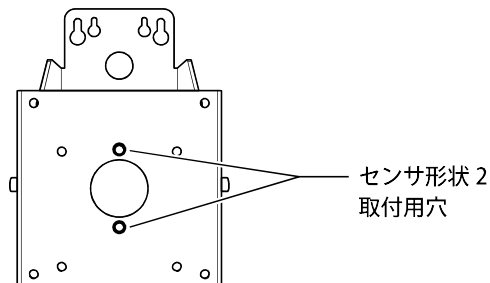
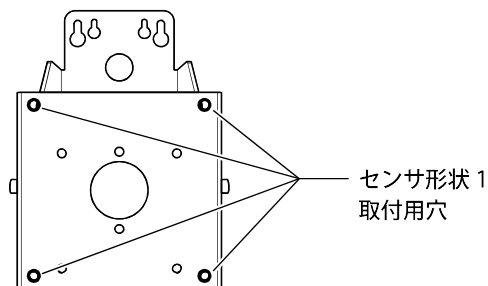
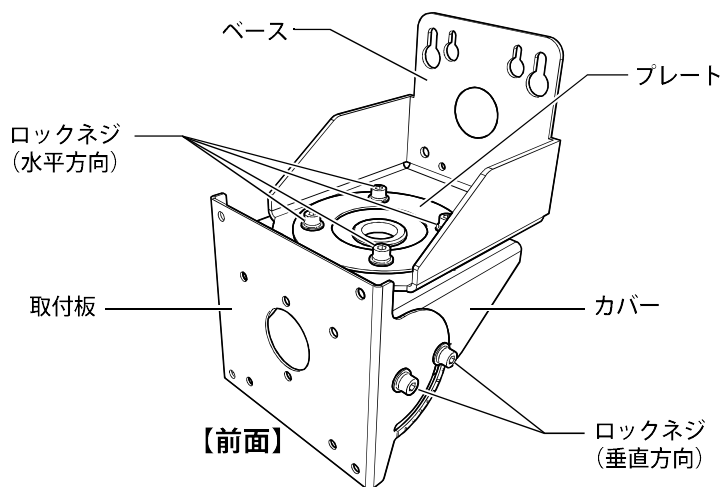
センサ形状 2
FDCJ004-Dなど
同一形状を含む
(10-2,10-3項参照)



配線用ボックス
ZBWJ001-Rなど
同一形状を含む
(10-2項参照)

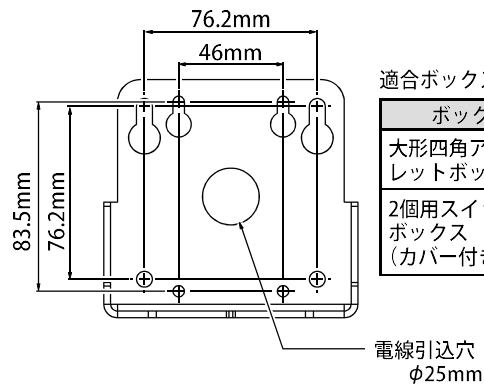
【備考】 結線は、取り付けるセンサの取扱説明書を参照してください。

6. 各部の名称とはたらき



【備考】 屋外で使用する場合は、配線用ボックスが必要です。

【取付寸法図】

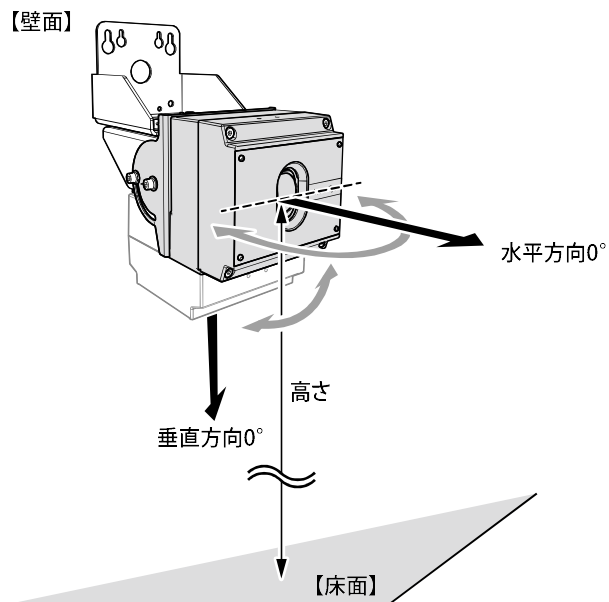


適合ボックス

ボックス	ボックスカバー
大形四角アウトレットボックス	大形四角2個用スイッチ
2個用スイッチボックス (カバー付き)	—

7. 設置高さ・角度の基準について

- 設置高さの基準
床面からセンサの中心までの距離を示します。
- 設置角度の基準
水平方向: 壁面と垂直な方向を0°とします。
垂直方向: 天井面と垂直な方向で、真下向きを0°とします。



8. 電線について

必ず、以下の電線を使用してください。
単線: $\phi 0.9 \sim 1.6\text{mm}$

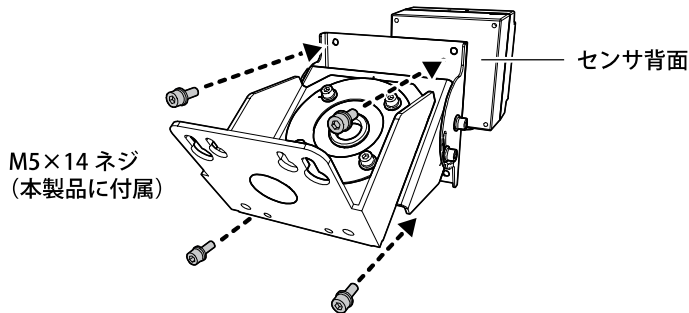
9. 仕様

製品名	自在金具
型名	ZPDJ006-R
可動範囲／目盛	水平方向 $\pm 90^\circ / 10^\circ$ ピッチ 垂直方向 $0 \sim 90^\circ / 10^\circ$ ピッチ
主材	ステンレス
質量	約1400g
オプション機器(別売)	遮光カバー ZADJ001-R (約600g) 遮光カバー ZADJ002-R (約400g) 配線用ボックス ZBWJ001-R (約300g)

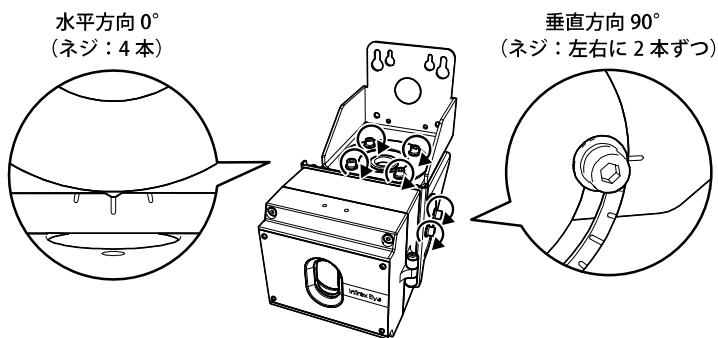
10. 設置手順

10-1. センサ形状1との取り付け

1. 取付板のセンサ形状1取付用穴に、センサをネジで固定します。
 - ・必要に応じて、遮光カバー ZADJ001-R (別売) を使用してください。
 - ・必要に応じて、センサに電線管用コネクタやケーブルグランドを接続してください。



2. ベースとカバーの水平方向の角度を0°、カバーと取付板の垂直方向の角度を90°に向けて、すべてのロックネジを軽く締めます。



3. 本製品を、設置面にネジで固定します。

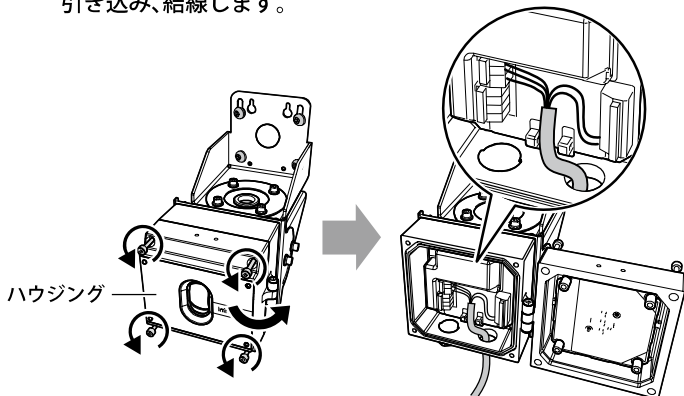
備考 ネジは本製品に付属していません。別途準備してください。

4. 水平および垂直方向の角度を設備図の設定値に合わせ、ロックネジを締め付けて固定します。

備考 角度の設定方法は、「11. 角度の設定方法」を参照してください。

5. センサに配線を接続します。

- 1) センサのネジを緩めてハウジングを開き、配線をセンサ内部に引き込み、結線します。

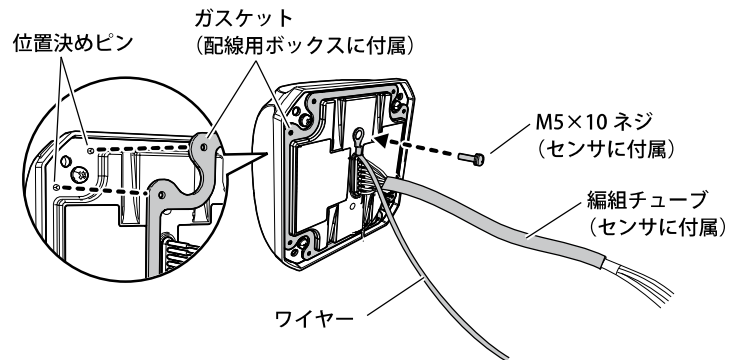


備考 ネジは脱落防止構造になっています。

- 2) ハウジングを閉め、ネジを締め付けて固定します。

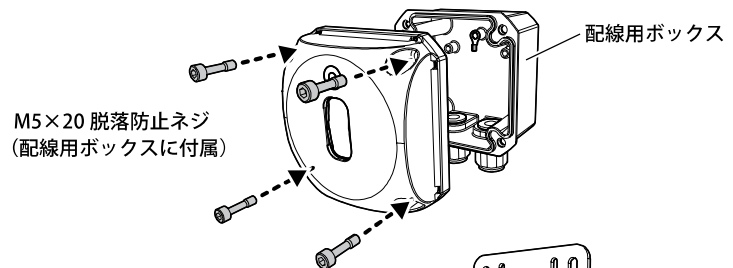
10-2. 配線用ボックス・センサ形状2との取り付け

1. 編組チューブをセンサのリード線に巻き付けます。
2. センサにガスケットおよびワイヤーを取り付けます。
 - 1) ガスケットを、センサの位置決めピンにはめます。
 - 2) 配線用ボックスのワイヤーを、センサにネジで取り付けます。

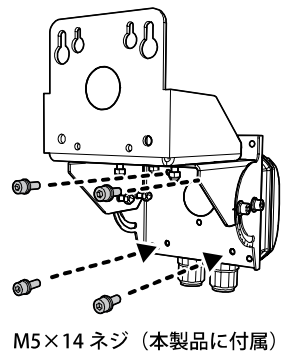


備考 センサによって編組チューブが付属していない場合があります。付属していない場合は、使用しません。

3. センサの配線を配線用ボックス内に収納して、センサと配線用ボックスをネジで仮固定します。
 - 必要に応じて、配線用ボックスに電線管用コネクタやケーブルグランドを接続してください。



4. 取付板の配線用ボックス取付用穴に、配線用ボックスをネジで固定します。
 - 必要に応じて、遮光カバー ZADJ002-R (別売) を使用してください。



5. 水平方向の角度を0°、垂直方向の角度を90°に向けて、すべてのロックネジを軽く締めます。
6. 本製品を、設置面にネジで固定します。

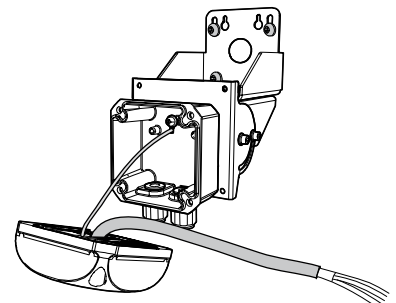
備考 ネジは本製品に付属していません。別途準備してください。

7. 水平および垂直方向の角度を設備図の設定値に合わせ、ロックネジを締め付けて固定します。
 - 角度の設定方法は、「11. 角度の設定方法」を参照してください。

8. センサに配線を接続します。

- 1) ネジを緩めてセンサを取り外し、配線用ボックスからワイヤーでぶら下げます。

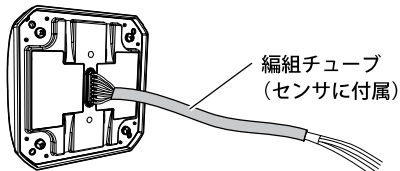
備考 ネジは脱落防止構造になっています。



- 2) 配線とリード線の結線を行い、余長を配線用ボックス内に収納した状態で、センサを配線用ボックスにネジで再固定します。

10-3. センサ形状2との取り付け

1. 編組チューブをセンサのリード線に巻き付けます。



備考 センサによって編組チューブが付属していない場合があります。付属していない場合は、使用しません。

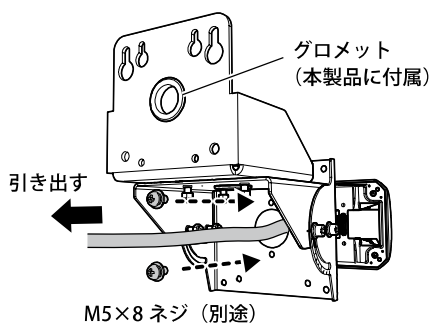
2. リード線を取付板の中央の穴から引き出し、センサを取付板にネジで固定します。

注意 センサに付属のネジは使用できません。別途、M5×8 (ダブルセムス) を2本準備してください。

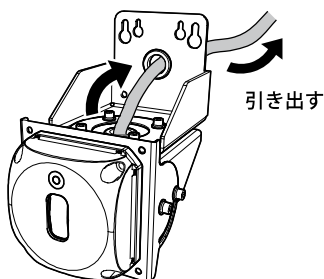


指定の長さのネジを使用して固定してください。
指定されたネジ以外を使用した場合、正常な火災監視ができなくなります。

3. ベースの電線引込穴にグロメットを取り付けます。



4. リード線をカバーの中央の穴からベース側に引き出し、ベースの電源引込穴に通します。

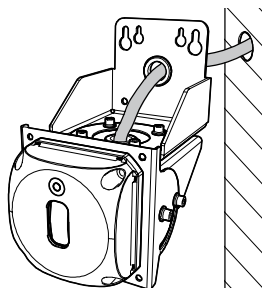


5. 水平方向の角度を0°、垂直方向の角度を90°に向けて、すべてのロックネジを軽く締めます。

6. 本製品を、設置面にネジで仮固定します。

備考 ネジは本製品に付属していません。別途準備してください。

7. 配線とリード線を結線し、余長を設置面に収納します。



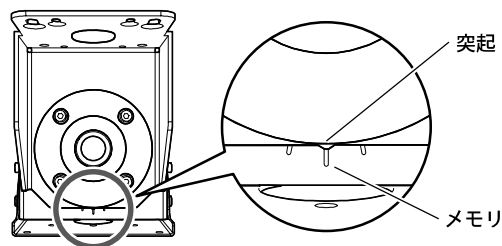
8. 本製品を、設置面に本固定します。

9. 水平および垂直方向の角度を設備図の設定値に合わせ、ロックネジを締め付けて固定します。
角度の設定方法は、「11. 角度の設定方法」を参照してください。

11. 角度の設定方法

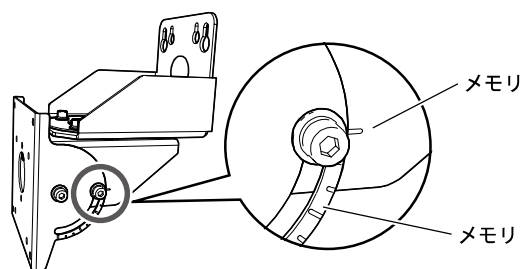
11-1. 水平方向の角度調整

カバーのメモリとベースの突起を確認しながら、水平方向の角度を設備図の設定値に合わせてください。



11-2. 垂直方向の角度調整

カバー側面のメモリと取付板のメモリを確認しながら、垂直方向の角度を設備図の設定値に合わせてください。



11-3. 角度調整範囲について

センサ形状1に遮光カバー ZADJ001-R を使用した場合の、角度の調整可能範囲を表に示します。

角度調整可能範囲 (塗りつぶし部分が調整可能範囲)

		水平方向回転角度（°） 時計回り										水平方向回転角度（°） 反時計回り											
		～15	20	25	30	35	40	45	50	55～	～75	70	65	60	55	50	45	40	35	30	25	20～	
垂直方向回転角度（°）	0																						
	10																						
	20																						
	30																						
	40																						
	50																						
	60																						
	70																						
	80																						
	90																						

12. 本製品の設置を終えたあとに

付属の角度表示シールに垂直方向および水平方向の角度を記載し、ベース側面に貼り付けてください。

